

第3期仙台市地域保健福祉計画の評価方法(案)について

1. 仙台市社会福祉審議会地域福祉専門分科会について

第3期仙台市地域保健福祉計画の策定にあたっては、高齢者、障害者、子育てといった個別分野を超えて社会福祉を総合的に推進するため、福祉関係団体、医療関係団体、ボランティア団体、NPO、町内会、学識経験者等で構成される「仙台市社会福祉審議会地域福祉専門分科会」（以下、「地域福祉専門分科会」という。）を平成27年3月に設置しました。第3期仙台市地域保健福祉計画「第6章 計画を推進するための取り組み」のとおり、地域福祉専門分科会において、地域の実情を踏まえながら、本計画の進捗管理・評価を実施します。

(1) 意見・評価結果の公表

地域福祉専門分科会における意見・評価結果等について、ホームページに掲載するとともに、市民からの意見等を施策展開の参考とします。

(2) 意見の反映

地域福祉専門分科会の意見を踏まえ、地域の保健福祉ニーズに合致した施策展開を行うため、施策内容の見直し、新規施策の実施に関する検討を行います。

2. 評価対象とする施策

本計画では、基本目標及び取り組みの基本的方向を踏まえ、17の施策の方向を位置づけました。また、地域において支え合い・助け合う力（地域の「福祉力」）をさらに高め、未来へとつないでいくための取り組みとして、特に核となる事業に取り組むことにより、その他の施策も併せて推進していくこととしています。

従って、地域福祉専門分科会においては、5つの重点施策「仙台の強みを活かした新たな担い手の育成」「地域団体による福祉活動の充実・強化」「コミュニティソーシャルワーカーによる地域支援活動と人材育成の促進」「災害に強い地域づくり」「地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築」に該当する36の個別事業を評価対象とします。

3. 評価の具体的な流れ

本計画の評価の具体的な流れは、下記のとおりとします。

